

会 議 録

会議の名称	第2回 東由利地域協議会
開催日時	平成19年10月24日(火) 午前9時30分
開催場所	東由利総合支所 2階 第3・4・5会議室
出席者氏名	「出席者名簿」のとおり
欠席者氏名	小番正裕、阿部清太郎、阿部陽悦、阿部一郎、村上主江、大日向操子、谷口幸子、大庭時晴、小松佳和、阿部タツ子、畠山勉、今野登和子、金子拓雄、大日向幸子、小松信子、石渡力造、小島静子、長谷山博昭
<p>会議次第</p> <p>1. 開 会</p> <p>2. 挨拶</p> <p>3. 平成19年度上半期諸般の報告</p> <p>4. 案 件</p> <p style="padding-left: 40px;">1) 平成20年度予算要望について</p> <p style="padding-left: 40px;">2) 今後の地域協議会の進め方について</p> <p>4. その他</p> <p>5. 閉 会</p>	
会議の経過	別紙のとおり

出席者名簿

(地域協議会委員 11名)

役 職 名	氏 名	備 考
会 長	遠 藤 忠 平	
副 会 長	長谷山 光	
	阿 部 竹 雄	
	梅 津 榮 一	
	畠 山 与 一	
	小 松 勝 男	
	大 沼 武 彦	
	梅 津 嘉一郎	
	畠 山 鋼	
	高 橋 慶 助	
	小 松 耕之助	

理 事	佐々木 永 吉	
総合支所長	今 野 喜 次	
振興課長	小 松 慶 悦	
市民課長	佐 藤 順 一	
福祉保健課長	佐々木 喜 隆	
産業課長	柴 田 和 尋	
建設課長	小 松 建	
東光苑施設長	大 庭 敏 昭	
教育事務所長	高 橋 悦 子	
事 務 局	高 橋 裕 子	
	佐々木 晃 子	

第2回 東由利地域協議会

と き 平成19年10月24日(火)
午前9時30分～11時45分
ところ 東由利総合支所
2階 第3・4・5会議室

1. 開 会 午前9時30分

2. 挨拶

会長挨拶

お手元に配布した次第にもあるとおり、今日は平成20年度予算要望について、また、この協議会の在り方について、忌憚のないご意見をいただきたい。

協議会の出席率が思わしくない状態で、行政への関心が薄くなってきているのではないかと心配されるが、大事な地域のためには皆さんの声が一番だと思う。皆さんの力を借りながら、地域の声を届けていきたい。

理事挨拶

はじめに、市の状況を申し上げたい。

8、9月の集中豪雨による、市全体の被害額は7～8億。9月議会の最中だったこともあり、被害状況をまとめて最終日に災害復旧のための補正を追加した。来月から林道の災害査定が始まる。

秋田わか杉国体・わか杉大会では、多くの方にご協力をいただき感謝申し上げます。国体事務局によると、今大会で7万2千人が市を訪れた。特別な事故も無く、無事に終わった。

平成20年度の予算編成も始まり、お金の無い話もしなければならないが、来年度からはTDKのMCCが営業を開始することもあり、少しは明るい兆しがあるのかと期待もしているところ。

また、東由利出身の遠藤章先生が由利本荘市の名誉市民第1号に選ばれ、11月13日に文化会館で顕彰式が行われる。

平成19年度も終わりに近づいているが、均衡ある発展を基盤に平成20年度の予算編成作業を進めていきたい。

3. 平成19年度上半期諸般の報告

振興課 携帯電話の鉄塔建設事業についてご説明したい。向田集落に高さ40m、ドコモ・KDDI 相乗りの鉄塔を建設する。これから工事に入り、供用開始は来年

4月から。石高の鉄塔から羽後町側のエリアをカバーする予定。この他にも小倉地区、大吹川・袖山地区を要望しているが、まだ目処は立っていない。

市民課 40m³の防火水槽3基を杉森、桂台、茂沢地区に設置済み。火葬場の屋根の塗装、火葬炉の修繕を行っている。ゴミの有料化が10月1日から実施されている。ロール式1組10枚で新しいゴミ袋が売られている。12月中はこれまでのゴミ袋も使える。火災はこれまでに3件発生しており、住家が1件、非住家が1件、焼身自殺が1件となっている。

福祉保健課 8月22日に由利本荘市戦没者追悼式が行われ、420名が出席。うち、東由利からの出席者は36名。9月20日には東由利地区敬老会が行われた。対象者は888名、うち41%の364名が出席。最後に7月1日に県が発表した高齢化率についてご報告したい。由利本荘市は27.7%で、県内21位。そのうち東由利地域は36.6%で上小阿仁村の43.1%、藤里町の37.6%に次ぐ3位。また、東由利地域の4月から9月までの出生は6人、亡くなった方が31人で25人の減となっている。

産業課 8月20～22日、27日の2度の豪雨により農業用施設175箇所が被害を受けた。国レベルの補助災害、9箇所11件について昨日査定が行われた。市単独の3分の1補助については、9月議会において予算化している。まだ申し込んでいない箇所もあるようなので、業者の見積りなどを持って申し込みするよう地域の皆さんにもお話していただきたい。

また、平成14年度から着工している林道石塚線が今年度で完成。来春は上里から小倉までの通り抜けが可能になるので、利用していただきたい。

19年度産米の出荷状況については、22日現在で、出荷契約数113,670袋に対して、92,207袋で81.1%の出荷率。一等米比率は東由利地域においては98%と高品質な状態。これから大きい農家の出荷が進めば、出荷率も上がると思う。

建設課 豪雨による災害からご報告したい。まず、道路災が10箇所、河川災が18箇所。小破災害の道路災は13箇所、河川災が4箇所となっている。小災害については、緊急度の高いものから対応していきたい。

地方道交付金事業については、市道新田線が舗装工が終わり、旧橋解体等の残工事があるが、今年度末の完成を予定している。市道蔵上里線は歩道橋の設置工事の下部工がほとんど終わり、上部工の桁架設を11月中旬から。市道坪倉線の災害防除は進捗率が191m中50%で、年内の完成を予定している。市道石高線は法面工事が進行中。こちらも年内の完成を予定している。

除雪関係では、16t級のドーザを11月中旬に1台購入予定。

農業集落排水については、大琴地区を進めている。平成19年度事業費は1億4,900万ほど。畑村地区で処理施設の土木工事、大琴地区で管路設置工事(7

00m5工区)と排水側溝の設置工事292mを着工中。

簡易水道については、西山地区1,220m、袖山地区約4kmを今年度完了を目指して着工中。

教育事務所 平成17年度に東由利地域の3校が文科省の指定を受けて取り組んできた学力向上拠点地域形成事業について、3年間の研究の成果を9月27日に研究会で公開。全県から200人を超える先生方にお集まりいただき、意義のある研究会となった。この高まりを一過性のものにせず、継続していきたいと考えている。ご協力をお願いしたい。

43年ぶりに行われた全国一斉学力テストの結果が、今日公表される。学力向上拠点事業に取り組んできたこともあり、結果が大変気になるところだが、楽しみに待ちたい。結果の公表の仕方については、これから県教委、市教委で検討し方向を出す予定。また、ハード面では、八塩小学校のスクールバスを更新した。

9月2日に国体デモスポ行事が行われ、県内から約300人の選手が出場し、盛会のうちに閉会することができた。

また、今後の行事については、今週土日に秋まつり、11月4日に東由利音楽祭が開催される。11月15日にはK2に登った小松由佳さんの講演会も行われるので、ぜひご聴講いただきたい。

議長	報告に対する質問、確認したことなどは。
A委員	携帯電話の鉄塔について。大琴の鉄塔で届かない部分をカバーしていく見通しはないか。
小松振興課長	要望中ではあるが、事業者の計画にどこまで入っているか把握していない。
A委員	出力アップの可能性は。
小松振興課長	電波法で出力の上限が定められている。エリアを広げるには、新たに鉄塔を建てるしかない。
A委員	強く要望していったほしい。
B委員	事業者を選んで要望しているのか。
小松振興課長	そうではない。参入するかどうかは事業者側の判断となる。
B委員	とにかく通じるようにしてほしい。

4. 案件及び説明

1) 平成20年度予算要望について (資料1)

佐々木理事

まず予算要望の前に市の財政状況を説明したい。

9月8日のさきがけ新報に県内市町村の公債費率が高くなってきたという記事が載った。実質公債費率は収入に対する借金返済額の比率で、18年度決算から新たに導入されたもの。この比率が18%を超えると、7～10年の財政計画で18%未満にするという計画を立てないと借金をすることができなくなる。由利本荘市では18年度15.9%だったが、制度改正により算出方法が変わったため19年度は想定していた16%を上回る18.3%となった。借金で社会資本を増やしたとも考えられるが、ただし、10年かかってこの借金返済の比率を下げなければならないという状況に置かれている。

平成18年度決算を見ると、返した額よりも借りました額の方が多く、20数億借金が増えたことになる。さらに特別会計の市債500億を加えた額を10年間払い続けていかなければならない。

歳入を見ると、市税の割合が15%、地方交付税が36.5%。地方交付税は前年比で3.3%減、約6億の減収となっているが、さらに国では平成20年度の地方交付税を平成19年度比で4%減とする方針を出している。また、市税割合を全国平均35%に合わせるとすれば、歳入総額500億を切り詰めていかなければならない。

次に歳出を見ると、人件費が前年比で4億3,000万の減。新規採用は退職者の3分の1弱で、毎年3～4億減少し、5年間で約15億の減となる。他に大きな変動はないが、できるだけ節約していかなければならない。

平成17年3月に作成したまちづくり計画のとおりやっていると、実質公債費率は20%くらいになる。18%以内に抑えていくには、合併特例債や過疎債など有利な起債を使いながら、できるだけ一般財源を使わないようにしていかなければならない。補助事業についても、特定の地域に対する補助、補助効果が薄いもの、自主財源がないもの、繰越額が補助金額より大きいものなどは、見直し作業を進めている。

予算要望の前にこのような話をして申し訳ないが、市の状況を頭に置いていただきたい。もちろん必要な予算はつけていく。

小松振興課長

平成19年度～平成21年度までの実施計画をお配りしたが、この計画をもとにさらに調整が図られていく。合併時に計画にあった事業が繰り延べになったり、逆に前倒しにされる事業などもある。

皆様のご意見を聞きながら平成20年度予算要望を進めていきたいと思うので、よろしく願いしたい。

議長	委員の皆さんから何か意見などありませんか。
B 委員	10月からゴミ有料化が始まったが、12月までは古いゴミ袋を使えるという。古いゴミ袋を使う際、上乘せされた分の料金は徴収されないのか。
佐藤市民課長	徴収されない。 12月末までは混乱を避けるための移行期間として古いゴミ袋も使える。それ以降は余った古いゴミ袋を市民課に持って来てもらえば、新しいゴミ袋と等価交換する。
C 委員	後期高齢者医療制度について情報は入っているか。
D 委員	排水路整備の問題だが、水に関係する事業なので、ポンプ修理などと一緒に進めていかなければならないと思う。水の有効利用にもつながるのではないかと。 また、高齢者に対する祝い金の支給が口座振り込みになったと聞いた。情が無さすぎ。旧町のときは一軒ずつ回って渡していたので、誠意が感じられた。市になって対象者も多く大変だと思うが、対応の仕方を考えてほしい。
柴田産業課長	排水路の再整備については、維持管理適正化事業を使って整備していくしかないと思う。総事業費が200万以上でないと補助事業にならないので、事業の規模や自己負担のことなども含めて、土地改良区と相談をしながら進めていきたい。
佐々木 福祉保健課長	百歳の方については市長が出向いて直接手渡しているが、百歳未満の方についてはそうっていない。このようなご意見があったということをお本課へ伝えたい。
A 委員	ゴミの有料化に伴って民税が安くなったりすることはあるか。 また、自治会交付金の見直しについて、議会において市長が「条例の廃止はない」という答弁をしたが、市長独断の答弁か。
小松振興課長	民税は地方税法にもあるとおり、所得に応じて決まる。ゴミの有料化と民税は関係ない。
佐々木理事	いろいろ検討した内容をふまえての答弁。独断ではない。

C 委員	後期高齢者医療制度についてだが、今配られたパンフレットでいたい分かった。
佐藤市民課長	このパンフレット等を配布して、再度周知していきたい。
B 委員	医療費負担が増えれば、莫大な財源になると思う。その財源はどんなことに充てられるのか。
佐藤市民課長	何に充てられるかまでは説明できない。
B 委員	この制度をまとめるのは誰か。
佐藤市民課長	各市町村が加入して広域連合を作り、それぞれが負担金を出し合っ て平成20年4月1日からの事業スタートに向けて作業を進めている。
E 委員	いろいろな会に参加しているが、何をするにしても予算がない状況。 補助金も出ない。体力・能力だけでなく、経済面でもポアンティアし なければならなくなっている。 人との出会いなどがあって参加して良かったと思えるような会が、 もっとあれば良いと考えている。
議長	事業にも工夫が必要になっているようだ。 ほかに意見などは。
F 委員	大琴地内の地滑りについて、状況を教えてほしい。
小松建設課長	県に要望書を提出し、指定に向けた条件整備を進めている。来週の 災害査定が終われば、県と会議を開きたいと考えている。
G 委員	声が高い、市民の熱意が強い地域の方が事業の優先順位も高い。地 域協議会の意見も十分反映させてほしい。 人口比率の違いもあるが、本荘の中心部の方に大規模な事業が集中 している。東由利、鳥海、西目などの事業が少なくなってきたよ うに感じる。市内の地域格差についての認識は持たれているのか。
小松振興課長	学校建築関係などの大きい事業が、最近では本荘、矢島・西目地域で 着工され目立っているが、一体性をもって、均衡ある発展を目指し進 めていくという基本的な考え方は変わらない。
G 委員	出生率も低く、10年後にはかなり人口が減少する。小学校の統合、

	小中学校の統合などの話は出ているか。
高橋 教育事務所長	東由利地域で具体的な話し合いはしていないが、市教委で委員会を立ち上げ、市全域を対象に協議を進めている。
J 委員	私も委員になっており、これから検討していく段階にあるが、子ども的人数的に厳しい状況。2カ月に1回くらいの話し合いでなかなか進まない。
H 委員	農集排の整備が終わっている地域の加入率はどのくらいか。
小松建設課長	老方・館合地区で64%、蔵・法内地区で30%程度となっている。
H 委員	東由利全体の整備が終わるのはいつ頃か。
小松建設課長	現在着工中の大琴地区は21年に完了予定。その後、21年以降に田代・黒淵地区の整備を進める予定だが、計画の見直し等もあり1~2年延びる可能性もあり、はっきりした時期を申し上げることはできない。
I 委員	今年の米作はどうなることかと思ったが、1万円台までこぎ着けた。由利管内で進めてきた土作りが評価され、完全に売り切れる地域になったと思う。しかし、1万円の米に対して、農家は「大地のいぶき」に5千円も投資している。地域を支える産業振興に、もっと目に見える支援策をとってほしい。
柴田産業課長	現状維持できるよう本課でも予算要求を頑張っている。
C 委員	まちづくり計画の中に用水路整備はあるが排水路整備がない。道路掃除でも排水路までは手が回らない。この状況を認識して、良い方法を見つけてほしい。
柴田産業課長	排水路整備についても維持管理適正化事業でできる範囲のものについては、土地改良区とよく相談して進めていきたい。
J 委員	もう少し考え方を工夫すれば解決できることもたくさんあると思う。

2) 今後の地域協議会の進め方について

議長	<p>各地域の地域協議会があるわけだが、一所懸命やっている地域とそうでない地域とがあるようだ。</p> <p>10月18日に地域協議会の会長・副会長会議が開催され、今後の協議会の在り方について話し合われた。会議に出席した長谷山副会長から内容を話してもらいたい。</p>
副会長	<p>会長は本荘地域協議会会長、副会長は由利地域協議会会長が務めることになった。年2回はやっていきたいという話をしている。</p> <p>鳥海地域では年6回、いろいろなテーマを設けて開催しており、進んでいる地域の視察等も考えているという話だった。地域の具体的な問題点について話し合っていければ良いのではないかと。</p>
A委員	<p>自分たちで運営しているのか。</p>
議長	<p>自主的にテーマを設けてやっている。</p>
佐々木理事	<p>地域によっては、分科会や幹事会を設けて、テーマを作ってやっている。テーマを作るなどすれば、会の出席率も上がるのではないかと。</p>
小松振興課長	<p>年4回開催しなければならない。これまでは、会長と私とで話し合っただけで決めてきた。</p>
I委員	<p>出席率を上げるには、夕方の開催も考えてはどうか。</p>
A委員	<p>時間の問題ではない。委員の認識の問題だ。</p>
議長	<p>振興課長と話し合っただけだが、他の委員にも相談して決めれば、また違ってくると思う。検討しながら、進めて行きたいと思っている。</p>
D委員	<p>ある程度親睦の機会があれば、その時になって出てくる話もあると思う。懇親会も無駄ではないと思う。</p>

3) その他

A 委員

これは要望だが、CATVについてだが、矢島線や日沿道の景色を延々と流している。放送内容を検討してほしい。

5. 閉 会 午前11時45分